特集

神奈川宿の面影たどる

東海道屈指の宿場町



神奈川小学校の壁面に描かれた江戸時代の地図『東海道分間延絵図』

東海道五十三次のひとつである神奈川宿は、日本橋を出て3つ目の宿場町。江戸時代後期は宿内人口5793人と、小田原宿と並び東海道の中でも大きな宿場の一つだった。震災による遺産の喪失や埋め立てによる地形の変化によりまちの様子が大きく変容した今、宿場町の面影をたどる。

江戸湾の内海に面し、金沢区の六浦や東京都の品川とともに陸海交通の重要な拠点だった神奈川は1601年、徳川家康が定めた「東海道宿駅伝馬制度」によって、品川宿や保土ケ谷宿と並んで宿場の一つに指定された。

滝の川を境に、東に神奈川町、西に青木町の2町に分かれ、宿数などの規模は平均的な宿場だった一方、1843年（天保14年）頃にまとめられた「東海道宿村大概帳」によると、人口5793人と小田原宿と並んで東海道の中でも大きな宿場の一つだった。

海に面して旅籠（現在の旅館）が並び、富士山が見え景色の良い地として知られた台町や船着き場、漁場などがあった。旅人はもちろん観光で訪れる人も多く、最盛期には近くの宿場の2倍の人口があったという。

さまざまな宿

宿場は「宿駅」とも呼ばれ、江戸幕府の公用で荷物や通信物をリレー方式で運ぶ際の拠点として重要な役割を果たした。泊まれる宿の種類は身分によって決まり、参勤交代の大名や公家、幕府の役人などは本陣・脇本陣、その他の旅人は旅籠か木賃宿を利用した。

旅籠は現在の旅館と同じように食事や風呂が付いた宿。その5分の1の宿代で泊まれる木賃宿は食事も風呂も付いていないため、旅人は自分で食事を作っていたという。

浦島太郎伝説

男性が助けた亀に連れられて竜宮城へ行き乙姫に会う「浦島太郎」の物語は全国に言い伝えられているが、神奈川宿周辺にも浦島伝説があったという。竜宮城から帰ると30年の月日が経っており、すでに両親は他界。墓石のあった白幡の峰（浦島山）に堂を建立し、乙姫からもらってきた観世音を祀って両親の霊を弔った。ここがのちいきいき、横浜は現在のような大都市へと発展した。

神奈川宿の現在

神奈川宿が誕生してから400年以上が経つ。関東大震災や第二次世界大戦によって多くの歴史的遺産は失われ、街並みも大きく変化した現在も、町中で神奈川宿を感じられる場所がある。

「神奈川宿歴史の道」は、歴史や伝説が残る場所にガイドパネルを設けるなどの景観整備が施された道。絵図や古地図付きの解説パネルを見ながら歩き、神奈川宿の歴史をたどることができる。

神奈川宿がもつ雰囲気を考慮して作られ、浦島伝説にちなみ亀の形をした車止めや東海道にちなんだ青海波の模様など、随所に神奈川区の歴史を感じることができる。

あっとほーむデスク

神奈川区に来たばかりのころ、「神社やお寺が多い町」という印象を抱いていました。そこから1年半、神奈川宿の存在を知ったあとも、地域の歴史を記事にして取り上げる機会が少ないと感じていました。

地域の方々に相談したところ、さまざまな方が紙面づくりにご協力くださいました。一人ではできなかった企画です。誠に感謝申し上げます。（う）



浄土宗 三宝寺
神奈川区台町7-1 ☎045・322・1713

曹洞宗 本覺寺
神奈川区高島台1-2 ☎045・322・0191

真宗高田派 真色山清浄之院
甚行寺
神奈川区青木町3-10 ☎045・441・2673

うらしま寺
浄土宗 慶運寺
神奈川区神奈川本町18-2 ☎045・441・8310

創業安政四年（1857年）
岩井の胡麻油株式会社
代表取締役社長 岩井竜太
本社/工場 〒221-0053 横浜市神奈川区橋本町2-1-26
Tel.045-441-2033 Fax.045-441-2037
https://www.iwainogomaabura.co.jp/

真言宗智山派 金蔵院
神奈川区東神奈川1-4-3 ☎045・441・2760



株式会社ガトーよこはま
目玉商品のチーズケーキには、極上クリームチーズとこだわり卵、フレッシュ生クリームを使用。「かながわブランド」に認定され、横浜商工会議所北部支部が毎月第4土曜日、反町駅前ふれあいサロンで開くアンテナショップではお得な価格で販売。

神奈川宿の活性に向けた活動を応援しています

（順不同）

洲崎大神の伝統祭事

地域見守り800年以上



神幸祭の宮神輿

源頼朝が創建

神奈川宿内の神社の一つ洲崎大神＝青木町5の29＝は源頼朝が石橋山の合戦に敗れた後に安房神社の御祭神を勧請し、1191年（建久2年）に創建されたと伝わる。

毎年6月に例大祭が行われる。第2土曜日前後の三日間にわたり、神大寺囃子会や神代神楽越社中による奉納芸能や、宮前商店街の通りを埋め尽くすように並ぶ露店を楽しむことができる。

最終日の「神幸祭」では宮神輿を中心とした行列が、北は栗田谷や三沢、南は中宮橋や西区の軽井沢まで30以上の町内を1日かけて回る。

もうすぐ100年

この宮神輿は、1930年（昭和5年）に震災からの復興の中でつくられた。総重量450貫（1600kg余）・鳳凰の羽の長さ4尺8寸（180cm余）という全国でも有数規模の神輿の制作に当たったのは、行徳（市川市）の後藤神輿店。神輿師六世後藤直光を始めとして延べ530人の職人が携わったという。

御所車が京都でつくられ、昭和の中頃までは牛が牽いていた。現在はトラックが牽き、毎年氏子各町を回る宮神輿もあと4年で建造100年となる。まさに地域の宝の一つだ。

世話人を募集中

1879年（明治12年）に神輿世話人睦として発足した世話人会（会長 畑信幸氏＝北軽井沢中西部自治会長）を構成する通称「宮世話人」は、現在各町の代表として例大祭の運営等に当っている。

例大祭が欠かさず行われるように「地域の伝統を守りたい」「地域の宝を将来にもつなげたい」という方は各町会または社務所まで。

神奈川宿フェスが開催

11月21日 歴史スポット巡る



イベントのチラシ

神奈川区役所と神奈川宿エリアの寺社仏閣や企業、学校など10者からなる神奈川宿盛り上げ隊は11月21日㈯、「神奈川宿フェス2026秋」を開催する。会場は台町から新町付近の「神奈川宿歴史の道」。入場無料。当日直接会場へ。荒天中止。

「秋の感謝祭」＝紙面右下に掲載＝は洲崎大神境内で午前11時から午後3時、神明宮境内で午前11時から午後1時まで。

「神奈川宿重ね捺しスタンプラリー」は道沿いにある5カ所のスタンプを捺し、ポストカードを完成させる。午前10時から午後4時まで。

ジオラマ展示、VRも

また、VR企画では慶運寺、甚行寺、宗興寺、本覺寺に設置された二次元コードを読み取ると、360度カメラで普段見ることができない本堂内を見ることができる。

神奈川地区センターでは午前10時から午後4時まで、神奈川宿をはじめとする東海道の魅力や歴史について、ジオラマ展示とともに解説を聞くことができる。また、神奈川台場のVR体験会も同時開催する。

当日は公共交通機関で来場を。問い合わせは同区役所連絡課☎045・411・7028へ。

神奈川の大井戸

現代の町にのこる神奈川宿



宗興寺境内の脇にあり、当時徳川将軍や明治天皇の通行の際にこの井戸の水が使われたという。旅人には「お天気井戸」と呼ばれ、井戸の水が増えると天気が良くなるといわれていた。今年から市の災害応急用井戸として指定されている。

高札場



幕府が定めた掟などが木の板に書かれていた。神奈川宿の高札場は復元されたもので、横5m、高さ3.5m、幅1.5mもの大きさ。人通りの多い場所に置かれ、隣の宿場への駄賃額などが書かれていた。当時は神奈川警察署西側付近にあった。

神奈川宿 2026秋フェス

令和8年 11/21㊏ ※荒天中止

秋の感謝祭

洲崎大神 境内
神明宮 境内

洲崎大神 境内 青木町5−29 午前11時から午後3時まで

中段ステージ「青木ノ杜コンサート」

11:15〜 コンチェルティーノ トルコ行進曲などお馴染みの曲を女性デュオの美しいハーモニーで
yukako. コーラスの前後にダンスで華を添えます
11:50〜 森のくまさん's 同じ音楽大学で学んだヴァイオリン・フルート・ピアノのアンサンブル
12:20〜 栗山龍太 パラアスリート応援ソング「リアルピクトリー」を歌う盲目のシンガーソングライター
13:00〜 みよちゃんゆうちゃん ウクレレアンサンブル
13:20〜 さくらともりもり ウクレレとパーカッションのライブ。さくらは地元、青木小・栗田谷中出身
13:50〜 ハラウ・オ・カイナル・カ・マリエ 「穏やかな波」癒やしのフラダンス



直会殿「青木ノ杜茶道部」
〜秋の緑日一服茶会〜 いす席で型によらず気軽に楽しむ抹茶と和菓子

販売・お楽しみ おでん お宮さん／神奈川宮前郵便局／CAFE & DELI pono／Coffee KOBAN／NPO法人こらぼネット・かながわ／星槎学園ポートサイド校みんなをつなぐ会社ゼミ／ツバメ食堂／東神奈川学童クラブ／マルシェ／横浜商工会議所 北部支部／Lotus Spice Labo

◆幸ケ谷小学校による販売・展示 6年1組・2組・3組・4組 5年1組・2組 4年2組

神明宮 境内
東神奈川二丁目34−6 午前11時から午後1時まで

販売・お楽しみ
◆順福楼（からあげ ほか）
◆神奈川小学校による企画・お楽しみ 6年1組 5年2組

神奈川宿 盛り上げ隊

HPはこちら▶

※当日会場に駐車場・駐輪場、トイレはありません
※天候や販売状況等により内容を変更したり中止したりする場合があります